羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.73（No.31）
平成 30 年 2 月発行
一般社団法人岡山県介護福祉士会
〒 700-0807
岡山市北区南方 2 丁目 13-1
岡山県総合福祉・ボランティア・
NPO 会館「きらめきプラザ」7 階
TEL：086-222-3125
URL：http://www.okayama-kaigo.jp
印刷編集協力：友野印刷

えがお

第４回創心會大祭り～できるを知ろう大集合！大集結！～

このお祭りは創心會のリハビリテーション・ケアの活動を通じて得られてきた多くの発見と可能性を、より多くのご利用者様やご家族の方々に知っていただく発信の場の一つとして発足いたしました。もちろん弊社の力だけではなく、多くの関係者や地域の方々との連携があればこそ、開催することができると思います。新たな「できる」に気づきを得るまたとない機会であると考えております。第５回目はどんなものが見られるのか、楽しみです！

株式会社創心會　田中　真允

平成29年度 介護フェア開催
～魅せます介護のプロフェッショナル！～

日 時 平成29年11月５日（日）12：30～15：45　**会 場** 岡山県医師会館　三木記念ホール

11月11日の「介護の日」を前に毎年開催している介護フェアも、今年で９回目を迎えました。

今回は“魅せます介護のプロフェッショナル！”をテーマに、介護のプロとしての仕事のやりがいや、実際に介護の現場でキラリと光る介護福祉士達にスポットを当て、人生に寄り添う介護の大切さと共に、プロフェッショナル達の輝きも身近に感じていただける介護フェアになったのではないかと思います。

西川ヘレンさんをお迎えしての記念講演の他に、岡山県立大学の学生さん作成のビデオ上映、岡山県老人福祉施設協議会のイベント、青年隊「晴れる家」によるロールプレイ、介護福祉士会の介護デモンストレーションや、各企業からの介護・福祉に関する展示等もあり、今年も340名もの方にご参加いただきました。　（岡山地区：広報・山縣）

会長のあいさつ

『11月11日は介護の日です。岡山県だけではなく、全国でさまざまなイベントが開催されています。介護を頑張っている人、されている人、学んでいる人、まだ関わっていない人、それぞれの立場から一緒に介護を考えてみませんか。今日は、介護の魅力を発信していきます。』

安達悦子会長による挨拶で今年度の介護フェアが始まりました。

（真庭地区：広報・樋口）

ビデオ上映　『みんなが考える“介護福祉士”って』

制作：岡山県立大学 介護福祉コース３年生

岡山県立大学の谷口敏代先生を会場にお迎えし、まず岡山県内の介護福祉士養成校に関するお話と、岡山県立大学介護福祉コースの教育内容や実際の授業の様子についてご紹介がありました。

続いて、同コース３年生が日々の学びや実習を通して考え作成したビデオ『みんなが考える“介護福祉士”って』の上映がありました。映像の中で、介護福祉士を目指す学生さん達が考える介護福祉士の仕事のイメージや、介護福祉士とは…といった問いに対するそれぞれの思いが語られ、「“らしさ”を大切にする仕事」「人の人生に寄り添える仕事」「“夢”を叶える仕事。利用者の夢を叶え、子どもの頃から憧れていた介護福祉士になるという自分自身の夢を叶える仕事」といった意見があり、これからの介護をリードしていく、若い力がしっかりと育まれている頼もしさを感じるビデオ発表でした。　（岡山地区：広報・山縣）

齋藤七七重技術指導委員長にロールプレイの解説をしていただきました。

我々の活躍は
５ページで！

“カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト”受賞者登場！

岡山県老人福祉施設協議会

介護の仕事もプライベートも楽しみ、活き活きと活躍する若者に贈られる、岡山県老人福祉施設協議会『カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト』で見事第１回グランプリに輝いた、古山喬成さん（特別養護老人ホーム高瀬Ⅱ）、同準グランプリの池田憲治さん（蒜山デイサービスセンター）、第２回グランプリの大鼓裕宇輝さん（特別養護老人ホーム恵風荘）・金田真歩さん（特別養護老人ホームおもいやり）、同準グランプリの河野あずささん（デイサービスセンターサンライズ）の５名が颯爽とステージに登場。

受賞者の皆さんから、「利用者様の命を預かる仕事を通して責任感が養われ、人としても成長できていることを日々実感しています。」（金田さん）「“あなたがいるから元気が出るよ”と利用者様から声をかけていただき、こちらまで元気をいただいています。」（河野さん）など、介護の仕事への熱いメッセージが語られると、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

次回『カイゴ男子･カイゴ女子発掘プロジェクト』は、平成30年11月の開催予定です。

（岡山地区：広報・山縣）

介護フェア記念講演

『泣いて笑ってみおくって』

講師：西川ヘレンさん

子どもからお年寄りまで日本中で愛され、実際にご家族の介護も経験された西川ヘレンさんをお迎えし、『泣いて笑ってみおくって』と題して講演をしていただきました。

女優・タレントとして忙しく活躍される中、同居していた義理のご両親・お母様を介護し、見送られたヘレンさん。自宅に引きこもりがちだったお義父様に、どうしても美しい桜を見ていただきたくて、「お義父さんと一緒に桜が見られたら、どんなに素敵でしょう。」「お義父さんが一緒に来てくださったら私も心強いのに。」と優しく、時にユーモアたっぷりに声を掛け続け、お義父様だけでなくお義母様、実のお母様もご一緒の賑やかで一生の思い出となるお花見会が実現できたお話に、日頃介護福祉士として利用者様に接する私達も学ばなければいけないことばかりでした。

それぞれの方を見送られる際にも、ご家族皆さんが「おじいちゃんのために。」「おばあちゃんに喜んでもらいたい。」と最期まで協力されたお話を伺い、ヘレンさんのご家族と大切に向き合う姿勢が西川家を動かす力となり、温かい介護そして“みおくり”が実現したのだと感じました。

『泣いて笑ってみおくって』のタイトル通り、涙あり笑いありのお話の中に、ヘレンさんの温かくユーモアあふれるお人柄が感じられ、今介護に関わっている人、介護に悩んでいる人、介護を受けている人…すべての人に希望と笑顔を届けてくださる講演でした。

（岡山地区：広報・山縣）

『おかやま介護グランプリ』の紹介

岡山県介護福祉士会

日々研鑽を積み重ねた介護技術を競い合う『おかやま介護グランプリ』の紹介が、岡山県介護福祉士会の齋藤七七重副会長・介護技術指導委員長よりありました。

前回の第２回大会は平成29年２月に開催され、今後も毎年行われる予定です。

会場には、前回総合優勝チームの社会福祉法人寿光会の渡邊ひとみさん・植野佑梨さん・淺野真由さんも駆け付けてくださり、あらためて受賞の喜びと、「受賞後、より一層丁寧な介護を心掛けるようになりました。」「グランプリ受賞の写真を施設内に掲示していたら、利用者様から声をかけていただき、気持ちの引き締まる思いです。」と、総合優勝チームとして、受賞後の心境や現在の様子についてもお話しくださいました。

（岡山地区：広報・山縣）

介護フェア 展示ブース

ブースには企業、養成校、岡山県老人福祉施設協議会、青年隊晴れる家等､合わせて18団体の参加がありました。食事、排泄、入浴、移動に関わるものを中心に生活に関わるあらゆるものが紹介されていました。時代やニーズに合わせて進化しているのを感じました。　（美作地区：広報・河島）

展示及び広告協力企業・団体（順不同）

No.	会　社　名
1	東洋羽毛中四国販売株式会社　岡山営業所
2	株式会社トーカイ　岡山営業所
3	株式会社アマノ
4	株式会社VIPグローバル
5	日本ケアミール株式会社
6	赤木医科器械株式会社
7	株式会社エクシング
8	株式会社アンビシャス
9	株式会社アスティコ

No.	会　社　名
10	株式会社大塚製薬工場
11	アーカイヴジャパン株式会社
12	朝日医療大学校
13	美作市スポーツ医療看護専門学校
14	専門学校岡山ビジネスカレッジ
15	医療法人誠和会　介護老人保健施設福寿荘
16	ライフメッセージ株式会社
17	友野印刷株式会社
18	株式会社リョーキ　介護岡山店

＼がんばっています／ 青年隊「“晴れる家ハレルヤ”」隊員

青年隊「晴れる家」活動報告！

介護フェア

今回晴れる家はロールプレイとして、カイゴレンジャーによる寸劇を行いました。カイゴレンジャーはヒーローとは言い難いほど、かっこ悪く転倒ばかりのドタバタ劇になりました。本当はきれいな側転が出来るメンバーがいたのですが、衣装が滑って大失敗でした。しかしそれがかえって大笑いになりました。介護を分かりやすく説明する、また介護の魅力を発信する役目を担っていく活動にしていきたいと思います。

会場では晴れる家のブースも出していました。晴れる家の活動を記録した写真をいっぱい貼っており、その中から、「いいね」と思った写真にシールを貼って頂くようにしました。

結果は、減塩食を家庭でも出来るようにと企画し、地域の方や職場の利用者さんと共に調理した研修の写真が１位に選ばれました。選んでくださった皆さま、どうもありがとうございました。　（晴れる家副代表　早見）

認知症カフェ

県北チームでは今年度、認知症カフェについて取り組んでおり、何件か参加させてもらっています。11 月 25 日には、新見市大佐にある小規模多機能施設わきあいあいホールにて毎月開催されている「ほっとカフェわきあいあい」に呼んで頂きました。今回はレクリエーションをさせて頂くということで、県北メンバーでミーティングを重ね、初めてお会いするお客様に楽しんでもらえることはなんだろうと考え、「昔語り（回想法）」を行いました。テーマは、誰でも参加しやすく盛り上がりそうなものをと、お祭りと大佐の名所・名物の２つです。お客様、職員の方からは「楽しかったわ～」「よぉ喋ったわ～」「また来てんな」等の声を頂きました。メンバーも帰りの車内で「楽しかったー !!!」の声が止まりませんでした。

良い経験と素敵な出会いに感謝しております。ありがとうございました。　（晴れる家　河島）

～第23回　中国・四国ブロック研修会～
広島県大会
「存在証明～介護福祉士30年の歩みと誇り～」

開催日　平成29年10月６日（金）・７日（土）　**会　場**　広島国際会議場

「存在証明～介護福祉士30年の歩みと誇り～」と題して平成29年10月６日(金)・７日(土)に広島県広島国際会議場にて開催されました。

６日(金)の午前中にはプレイイベントで、「介護の未来は私たちが創る！」と題して中国四国９県の若者たちが熱く決意を発表しました。午後からの開会式の後、基調講演と記念講演が行われました。間には、健康体操のアトラクションが行われ、良い気分転換になりました。

記念講演は「介護福祉士の誕生の意味」と題して、元広島文教女子大学人間福祉学科教授　蝦江紀雄氏による講演がありました。特別養護老人ホームができた頃の話から、寮母の資格化を目指した頃のこと、どんな介護が必要か目指した介護の話。歴史を振り返りながら、介護の専門性を考え、目指すものとは何か、専門性に求められることの追求を講演で述べられました。

７日(土)の午前の前半は「介護福祉士に求められる実践力」をテーマに分科会が行われました。「認知症」・「他職種連携」・「障害者支援」のそれぞれの分科会で３題ずつの発表がありました。私は、「他職種連携」にコメンテーターとして参加させていただきました。①はグループホームにおいて、ミキサー食の方が、焼き肉屋でご飯をたべることができた他職種と連携の様子を発表、②は高齢者療養病棟において、シーティングが食事量に関係しているとの気づきから他職種と連携し改善が見られた事例の発表、③は―医療現場における介護福祉士の意味とは―と題して、電子カルテ導入により個別介護計画を立てているにも関わらず介護の記入分が少なくなった。患者利用者に対して、看護と介護が一緒に検討していかなければならない課題を提案した発表でした。

午前の後半は、特別講演に陶芸家の上岡多寿子氏をお招きし、認知症の母親との涙と笑いと感動の生活経験から見えてきたことを講演していただきました。

午後からは、標題の「存在証明～介護福祉士30年の歩みと誇り～」と題してパネルディスカッションが行われました。介護福祉士の専門性とは生活支援である。生活支援とは生きることに必要なことである。介護福祉士は自分たちの資格ではない、サービスを受けている方たちのための保証書であるなど、４人のパネリストとコーディネーターは広島県介護福祉士会相談役の廣山氏が行い、皆さんより熱い意見が熱く語られました。

介護福祉士の専門性を見える化できる介護福祉士会にしなければならないと言う思いがいっぱいになりました。

懇親会では、若者会が企画運営を取り仕切り、若さあふれる懇親会で各県の方とも交流ができ充実した会となりました。今後、岡山県の会員の方も沢山大会に参加され、切磋琢磨できる刺激いっぱいの会にできたらと思います。

（会長　安達　悦子）

青 年 部

広島で開催された中四国ブロック大会に参加してきました。

今年の中四国ブロック大会では、プレイベントとして各県の青年部の代表や若い世代の方がそれぞれ介護に対する熱い思いを発表しました。

この取り組みは、昨年の中四国ブロック大会で初めて青年部の中四国９県で会議が実施された際に、広島県の青年部を立ち上げた方から提案があって行われました。

岡山県からは、青年隊晴れる家の代表を務めている甲加が発表をさせてもらいました。

発表のテーマは青年隊の活動に添った内容なら構わないということでしたので、私は普段照れくさくて、なかなか口に出して伝えられない仲間への感謝の想いと、代表を務めることになったきっかけを発表させてもらいました。

晴れる家のメンバーも５人参加してくれており、みんなに気持ちを伝えられる良い機会となり、このような場を頂き感謝しています。

他県の発表もとても魅力的な発表ばかりで、この介護の仕事を盛り上げたい気持ちも、悩んでしまうことも、同じ思いを持った仲間がこんなに沢山いるんだなと実感できました。

今年の８月頃には広島、高知と力を合わせて、県を越えて何か企画を考えてみたいなと代表間で話しています。岡山の晴れる家が他県にも認められてきていること、とても嬉しく思います。これから活動の場が益々広がっていく晴れる家の活動を目にする機会があれば、是非声をかけてください。そして一緒に岡山県介護福祉士会を盛り上げていきましょう。

（晴れる家代表　甲加　勇樹）

介護福祉士基本研修

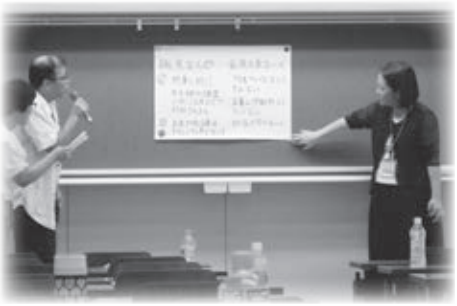
日　時：平成29年９月15日・16日
　　10月18日・19日
　　全４日間
会　場：川崎医療短期大学
講　師：川崎医療短期大学　医療介護福祉科
　　副主任／教授　山田　順子　氏

記念すべき第１回目の基本研修ということもあり、約30名の方が２ヶ月にわたって参加されました。

実はすごい岡山県！医療・福祉の礎を築いた偉人が多く活躍していたことから始まり、歴史的背景や法律、介護過程の必要性など幅広く復習もかねて学ぶことができました。

温和な講師の先生の人柄に励まされながら、「介護過程」をテーマに普段何気なく行っている思考過程を細かく洗い出す作業は想像以上に大変でした。しかし、介護の専門家として、介護サービスの根拠を明確化し、そのサービスを標準化していくためには欠かせない過程だと思いました。形のない介護だからこそ、誰にでも伝えられるように努力し続けることが必要だと感じました。

様々な受講生とグループワークを通して情報交換や学びを深め、介護の基本に立ち返ることで自身の日々の介護を振り返る良い機会となりました。　（岡山：広報・柴田）



輝く未来へのステップアップ研修会

日　時：平成29年10月25日（水）
会　場：岡山県生涯学習センター
内　容：第１部
・介護福祉士会の研修説明（目的、意味など）
　岡山県介護福祉士会　会長　安達　悦子　氏
・介護福祉士会の活動や研修を通して学んだ自身の体験談～グループワークを通して楽しく語ろう～
　青年隊晴れる家　代表　甲加　勇樹　氏
第２部

特別講演『未来の輝く介護職の育成講座』
講　師：美作市スポーツ医療看護専門学校
　永倉　栄一　氏（健康運動指導士）

岡山県介護福祉士会人材育成研修「輝く未来へのステップアップ研修会～マイヒーローだって新人だった～」と題して、研修会が開催されました。

永倉栄一氏による自身の体験談を交えての講演では、介護予防について実際に身体機能が改善した事例を紹介して頂き、わかりやすく学びました。自身の仕事に対する考え方や生活の中でのモノの見方といったお話もして下さり、とても参考になりました。目標は誰のためでもなく自分のためであり、目標達成には「やり抜く力」が重要であると学びました。

青年隊晴れる家の甲加代表からは「あなたが目指すヒーロー像とは？」というテーマで研修、グループワークが行われました。思い描くヒーロー像は介護職としての具体的なものから個性的なものまで様々でしたが、目標となる人をまず見つけるということ、そして近づく為にはどうしたらいいのか考えました。最後に“その人になるのではなく、その人に認められるオリジナルになろう！”とメッセージを伝えていました。

安達会長から介護福祉士会についてのお話もあり、自分が介護福祉士としてこれからどこを目指すのか、どうなりたいのか改めて考え、見つめ直すことができました。限られた時間ではありましたが、参加者とたくさん語り合う貴重な研修会となりました。　（晴れる家　佐々木）

地区研修・地区初任者研修・地区活動

●高梁・総社地区（初任者研修）

日　時：平成29年12月８日（金）
会　場：総社市総合福祉センター
テーマ：介護福祉士の専門性と職業倫理
講　師：岡山県介護福祉士会　石井　淑恵　氏

今回の初任者研修では、『介護福祉士の専門性と職業倫理』についての講義をしていただきました。介護は知識と技術だけ備わっていれば専門性があるという訳ではなく、そこに倫理が伴っていなければ良い介護はできない。専門性の中に、知識・技術・倫理が含まれているため、事あるごとに内省していかなければ驕りや怠慢が出てきてしまうので、常に振り返り自分を見つめ直すことが必要であると言われました。また、不適切介護の一場面を取り上げ、利用者・家族・第三者の立場から考え、事業所としてどのような対応をとるべきかについてグループ討議を行いました。現代社会において、利用者は消費者となり、これに伴い家族だけでなく地域社会の人からも高い職業倫理を求められている。そのため、誰のための介護かを意識し、日頃から利用者を思う気持ちを大切にして利用者と向き合ってゆきたいと思いました。

（高梁・総社地区：広報・小橋）

●真庭地区（初任者研修）

日　時：平成29年11月20日（月）
会　場：久世エスパスランド
テーマ：介護福祉士の仕事とコミュニケーション
講　師：岡山県介護福祉士会　實村　恵美子　氏

研修では、「介護福祉士の仕事とコミュニケーション」がテーマでした。２人１組になり、普段 職場でどのような声掛けをしているかなど実際にしてみて、表情・位置・姿勢・目線の高さが重要だと思いました。コミュニケーションをとる上で、傾聴・受容・共感すること・否定しないことが大切だと教わりました。

見えない拘束として、忙しそうな雰囲気、疲れたような態度(利用者さんに気を遣わせる)などがあり、これらに気を付けたいと思いました。技術より大切なものは、「あなたを大切にしたいという気持ち」、「その時でなければ伝えられないこと」、「上手だから伝わる訳ではない」と教わりました。

今回の研修で学んだことを、現場でも活かしていきたいと思いました。

（真庭地区：広報・樋口）

■岡山地区（地区研修）

日　時：平成29年12月２日（土）
会　場：三世代交流センターよしい川
　　多目的ホール
テーマ：重い障がいのある方の支援と家族の思い
　　～障がい特性と環境との相互作用～
講　師：ひらた旭川荘　かえで寮　寮長　濱口　喜直　氏

長年、障害者福祉に携わった経験とご自身の障がい者を持つ親としての思いなどを踏まえ、優しい語り口調で講演していただきました。グループワークや演習を通して、自閉スペクトラム症の方の世界や特徴を知ることができました。何気ない声かけが、相手にプレッシャーを与えたり混乱させてしまうこと。自閉症の方の視野を疑似体験することで、どのような環境調整が必要なのか、どんな支援が効果的なのか、学ぶことができました。

介護というと高齢者を一番に思い浮かべてしまいますが、知的障がいや身体障がいなど様々な障がいを持っておられる方にとっても身近な役割だと思いました。様々な利用者の方の生活を支える専門家として、高齢者だけでなく障がい福祉にもアンテナをめぐらせて、介護福祉士としての引き出しを増やして深めて行きたいと感じました。

（岡山地区：広報・柴田）

●美作地区（地区活動）

「美作大学短期大学部介護福祉専攻科学生による
のんびり、ゆったりリラクゼーション体験会
&
岡山県介護福祉士会美作地区介護士による
介護器具の手作り改造レシピ体験会」

ダブルコラボ体験会

日　時：平成29年10月29日（日）
会　場：アルネ津山４階　図書館前ホール

『11月11日（いい日いい日）は介護の日』にさきがけて、美作大学短期大学部専攻科の学生５名と講師２名、介護福祉士会美作地区会員の８名が参加して、【リラクゼーションマッサージ体験会＆アイデア福祉用具体験会】と題して、地域の方へリラクゼーションマッサージを行い、介護フェアの告知もさせてもらいました。

介護の勉強をする学生が、自身の学んだことを活かしながら、地域の方に普段の疲れをとってもらおうと、この取り組みを企画しました。

この日、学生が行ったマッサージは、深いリラクゼーション効果をもたらす他、痛みや不安の軽減に効果があるとされ、がんや認知症の緩和ケアとして介護や医療の現場で実践されているものです。相手の背中を「たたく」「もむ」「押す」のではなく、「さする」「なでる」などやわらかく包み込むように触れる手技で10分程度、リラックスされるとともに会話も弾みコミュニケーションの一貫として楽しみながら行いました。午前中だけで、老若男女、子供から高齢者まで30名近くの方にマッサージをしました。

マッサージを体験された地域の皆さまから、感謝の言葉をたくさんいただきました。

◆学生さんにしてもらうマッサージは、学生さんのやさしさが身に染みました。
◆からだ全体があったかくなって気持ちがよかったです。

（美作地区：広報・神田）

平成29年度 介護相談活動

今年度も、県介護福祉士会や地区（井笠・岡山・東備）において介護相談を行いました。
この活動には、岡山県共同募金会の助成を受けています。
また、赤い羽根共同募金にも参加しています。
参加していただいた会員の皆様、ありがとうございました。

介護相談 in 岡山

介護相談 in 井笠

介護相談 in 東備

介護電話相談

赤い羽根共同募金
街頭活動

突然インタビュー

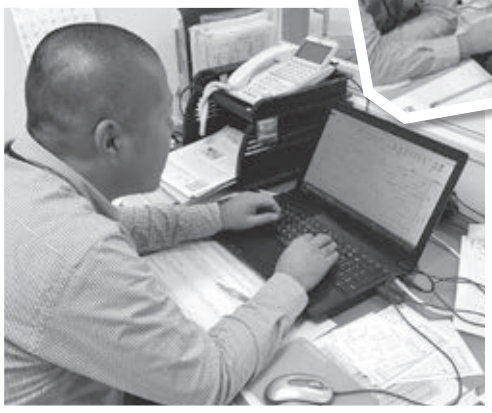
インタビュー者：岡山県介護福祉士会　真庭地区　地区部長
織田　正樹さん（特別養護老人ホーム 檜山荘）

Q：介護福祉士になったきっかけは…

A：高校の時に進路を決めるにあたり、現在の職場にボランティアに行き初めて高齢者福祉、介護の現場を見ることができました。このことがきっかけとなり高齢者福祉に興味を持ち、福祉の大学に進学しました。大学在学中も定期的にボランティアに行かせてもらい、実習も受け入れて頂きました。ボランティア、実習を通して、特養に就職したいと思うようになりました。目標は生活相談員として働きたいという思いがあったのですが、介護の現場を知らずして相談業務はできないと思い、まずは介護職員として介護福祉士の資格取得を目指し、現場で働きたいと思ったのがきっかけです。

Q：介護福祉士会に入ってみて思い出に残っていること

A：他施設の方と関わる機会、つながりを持てることが一番大きいと思います。それまでは、自施設内でしか情報を得られていなかったことも、他施設の会員の方と話を交わし情報を得られるようになり、自分の考えを見直すこともできましたし、様々なケアに関してもヒントをたくさん頂き、視野が広がったと思います。



Q：地区部長をされてみての感想

A：今、地区部長として２年目ですが、普段の仕事にプラスして地区部長として地区活動を行うのは、正直重荷ではありましたが、地区の役員の皆さんに支えられ、一緒に研修や懇親会など企画していく中でやりがいへと変わり、自分自身とても成長させてもらいました。

Q：真庭地区発展のために、今後してみたいことや期待すること

A：介護福祉士会の会員だけでなく、会員ではない介護の仲間が参加しやすい、参加したいと思えるような研修や懇親会を今後も継続して企画していきたいです。他施設の方と関わる機会、つながりを持ち、パイプが太くなることで真庭地区全体が盛り上がっていくのではないかと思います。参加者が増えれば介護福祉士会のことを知ってもらえる機会となり、会員も増えるのではないかと期待しています。
また、地域に何か貢献できないかと考えています。特にこれからの介護の担い手となる子どもたちに介護の魅力、やりがい、楽しさを伝える活動を、今年度初めて小学校で行ったのですが、１回で終わるのでなく今後も継続して行い、人材の確保、育成に繋げていけたらと考えています。

Q：休日の過ごし方、趣味などについてお聞かせください

A：家族と過ごすことが一番のリフレッシュですかね。子どもも３人いますし、子どもの笑顔には本当に癒されます。家でじっとできないタイプなので、休日のほとんどは家族でどこかに出かけています。
また、高校の同級生で草野球チームを作り、白球を追い掛け楽しんでいます。みんなだんだんお腹が出て動けなくなってきていますが…（笑）試合の後の飲み会が、正直一番の楽しみです。

（真庭地区：広報・樋口）

＊＊事務局紹介＊＊

事務局の筒塩です！大村です！
今回は２人(匹？)で事務局の紹介をさせていただきます。

この２月より
事務局に新しい仲間が
加わりました‼

どうぞよろしく
お願いいたします。
by 西村

まずは事務局の構成員から

事務局長・・・神寶　旭川荘デイサービスセンター敬老園にも週３日お勤めです。
（名誉会長との兼任）

事務局次長・・草加	渉外、問い合わせ対応、事務局管理	事務局専任
事務員・・・・筒塩	経理、事業・委員会他、事務全般	〃
事務員・・・・大村	会員様台帳管理、研修、広報他、事務全般	〃
事務員・・・・西村	事務全般	〃

今後の介護福祉士会に期待することを神寶事務局長と草加事務局次長からうかがいました。

神寶です。
会員一人ひとりが地域や職場で
信頼される為に、
介護福祉士が少しでも国家資格の
自覚を持って組織力を強化し
政策提言ができるように
なることが大事だと
思います。

草加です。

皆さんの団結力が必要です。
職能団体として活動することで、
サービスの質の向上とともに
社会的地位の向上に向け、
熱いハートとクールな頭で頑張りましょう。
今後の大きな目標は、
認定介護福祉士研修会の開催に向け
企画中です。

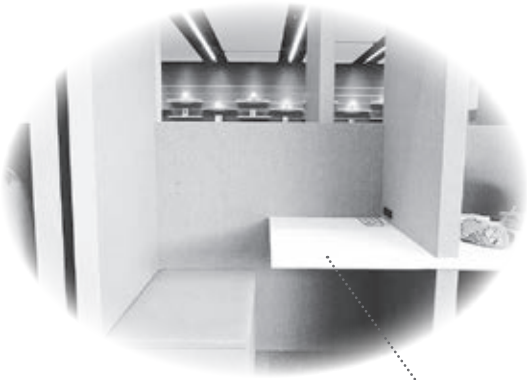
神寶事務局長

草加事務局次長

これからも会員皆様の活動のお手伝いを頑張ります。
よろしくお願いします。

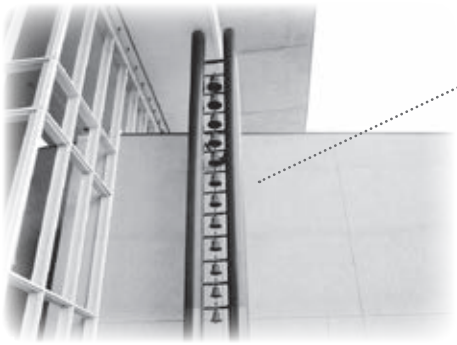
新見市立図書館

地区のおすすめスポット紹介



一人になれるスペースがあり、集中できますよ

新見地区のおすすめスポットは、最近新しくなった
『まなび広場にいみ　まなびの森』の新見市立図書館です。
総務委員会や、初任者研修で一度来られた方はご存じかと思いますが
あの、会議などで使用した建物が今は新しい図書館となりましたので、
また新見市にお越しになられた時にはぜひ、のぞいてみてください。
一人になれるスペースもあり、とても気持ちの良い空間が味わえます。
カフェコーナーがあり、一日のんびりと過ごせること、間違いなしです。
絵本コーナーもありますので、お子様とご一緒にいかがですか？



時間を知らせる鐘が鳴っています

（新見地区：広報・磯田）

── 介護職員のストレス発散と趣味 ──

私のストレス解消法の一つが献血です。

献血ルームうららに成分献血に毎月１回行っています。看護師の方と世間話をして楽しいひと時を過ごします。楽しいですよ！私にとっては、良いストレス解消法です。

心身ともに元気である事に感謝をして献血しています。

（ペンネーム　K-39）

一般社団法人岡山県介護福祉士会

代議員立候補者選挙公示

任期満了に伴い平成30・31年度の代議員を選出する為、下記日程で代議員立候補者選挙を行います。

3月1日　公示（選挙規定、選挙権者名簿、日程等）

事務局にて立候補受付

↓　選挙管理委員会にて受付書類確認

3月15日　立候補締め切り

立候補者一覧公示・選挙は投票用紙送付にて実施

選挙結果発表は3月末を予定

【各地区代議員定数】

地区名	会員数	代議員選出予定人数
岡山	437	12
倉敷	289	10
東備	105	7
真庭	54	6
美作	150	7
新見	28	4
高梁・総社	115	7
井笠	53	6
合計	1,231	59

※①立候補届出書の用紙は各地区事務局にあります。
※②立候補届出書を提出の際は、戸籍上の氏名をご記入下さい。

平成29年度賛助会員の皆様

（順不同）

社会福祉法人 恵風会　特別養護老人ホーム 恵風荘	学校法人 美作学園
ローブリーク	株式会社キャリアプランニング
株式会社パソナ岡山	学校法人 朝日医療学園
医療法人 福嶋医院	医療法人社団 新風会　玉島中央病院
学校法人 旭川荘　旭川荘厚生専門学院　吉井川キャンパス	社会福祉法人 松園福祉会
リコージャパン株式会社	中央法規出版株式会社
東洋羽毛中四国販売株式会社　岡山営業所	医療法人 ザイタック
森脇法律事務所	社会福祉法人 旭川荘　旭川敬老園
日本福祉大学	学校法人 順正学園　順正高等看護福祉専門学校
学校法人 川崎学園　川崎医療短期大学	

ご支援ありがとうございます

平成30年度岡山県介護福祉士会
賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。
詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。
資料を送付させていただきます。
岡山県介護福祉士会事務局　TEL：086-222-3125

みんなの広場
ほっとステーション

皆さんは　『はっとうじ』というのをご存じですか？

県北の（中西部も？）皆さんであれば、ご存じだと思います。県南の方では『カメムシ』。または聞くところによれば『ヘコキムシ』なんて呼ばれる地域もあるようです。

昨年の秋はとても、この『はっとうじ』が多くて、大変でした。

わが家では職場同様、お花紙で窓辺を飾っているのですが（職業病？）、天気の良い日に窓を開けていると、この『はっとうじ』がうじゃうじゃ、お花紙にへばりついているのです。おお…恐ろしい…。

家族と「はっとうじほいほいじゃ…」なんて、とても笑ってる場合じゃありませんでした。

晩秋になると、一旦隠れていた『はっとうじ』が暖房の効いた部屋で、ぶんぶん。

いや、カチンカチンと嫌な音を立てて、部屋中飛び回るのです。

春になったと勘違いしているのでしょうか？

そして本当の春になると、冬眠から目覚めた『はっとうじ』がうじゃうじゃ出てくるのでしょうね…。

県北ならではの話題で、失礼しました。

（P.N　カメムシホイホイ）

見るのもイヤな
『はっとうじ』です

県介護福祉士会からのお知らせ

◇会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様、必ずその年度中（３月31日まで）に退会届をご提出下さい。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意下さい。様式は、事務局へご連絡いただければ送付いたします。また、ホームページからも取ることができます。

ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの
日々のやりとりを教えてください。
同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、
そんな情報をお待ちしています。

編集担当
岡山県介護福祉士会
広報委員会

磯田　明枝　　山縣　香織
柴田　育子　　早見　潤一
田中美保子　　中村　幸子
吉田　和明　　頓宮　美樹
甲加　勇樹　　樋口　美佳
森谷　謙作　　神田　統夫
河島　友美　　大森　幹人
小橋謙太郎　　池田　和彦
田口百合子